

議事概要記録

開催日時	平成 29 年 11 月 23 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 00		開催場所	済生会和歌山病院 7 階 多目的ホール
会議種別	平成 29 年度 第 4 回理事会		議長	大石 博晃
			書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、木下 博之、神藤 洋次、田中 規仁 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、久保 光史、脇村 小津江 田原 靖子、山本 須美子、相根 弘史、瀧口 良重、稲垣 充也 16 名			
欠席者 <敬称略>	湊 健	オブザーバー		
次 第				
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第 5 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ データ標準化 ⑥ 会誌編集 ⑦ ホームページ ⑧ 会報 ⑨ 月例行事予定表 7. 連盟 8. 第 38 回和歌山県医学検査学会進捗報告 9. その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 結核研究奨励賞候補者推薦について 2. 日臨技災害支援対策マニュアルに基づく災害連絡責任者について 3. 災害対策委員会の中に DVT 検診チームについて 			
決議事項 及び 継続事項	<p>大石副会長より開会宣言があった。</p> <p>冒頭、竹中会長より医療法の一部の改正に関連して、精度管理事業の見直しの可能性と、検体採取の受講率が 72% であり、今後、8 割を目指して、未受講者には指導をしていくと開会の挨拶があった。</p>			

会長報告

日臨技関連

- ① 9月16・17日に和歌山担当で検体採取講習会（大阪YMCA国際文化センター）が開催されたと報告があった。
- ② 12月8～10日の日程で医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会企画担当者研修会に久保理事が参加すると報告があった。
- ③ 1月12～14日の日程で地域ニューリーダー育成講習会に神藤理事が参加すると報告があった。

近畿支部関連

- ① 10月28・29日に第57回近畿支部医学検査学会が開催されたと報告があった。

和臨技関連

- ① 10月14日に和臨技主催で認知症講習会Bが開催され、15名の参加があり来年度も開催する予定で考えていると報告があった。
- ② 10月21日に精度保証施設認証制度およびJCCLS共用基準範囲採用説明会が開催されたと報告があった。
- ③ 11月13日に医療セミナーin和歌山、検査と健康展が開催されたと報告があった。
- ④ 12月9日に災害対策研修会が開催される予定であると報告があった。

他団体関連

- ① 11月13日に第37回臨床検査支部大会 式典（シェラトン都ホテル大阪）があり竹中会長が出席したと報告があった。
- ② 11月15日に県副知事とメディカル・スタッフ団体と病院協会会長 懇談会があり竹中会長と畑副会長が出席したと報告があった。
- ③ 11月26日に第22回県病院協会学術大会が開催される予定であると説明があった。
- ④ 11月26日の和歌山県医師会設立70周年記念式典に出席すると報告があった。
- ⑤ 11月30日の県知事感謝状贈呈式に脇村理事が表彰され、竹中会長が臨席すると報告があった。

日臨技のeラーニングについて、有料であるが、一度実際に試してほしいと依頼があった。

木下理事より、eラーニングにおいて口座振り込みなどが追加されるかもしれないと報告があった。

第5回常務理事会報告

- ① 和臨技永年勤続者の選出について

日臨技よりの永年職務精励者表彰候補者を参考にし、今年度は東山 将治技師、奥野千晶技師、石井啓子技師の推薦を確認したと報告した。

事務局報告

- ① 9月1日：日臨技災害支援対策マニュアルに基づく災害連絡責任者について回答期限の関係にてメール会議を行い、会長を責任者として推薦したと報告した。
- ② 9月1日：日臨技管理資産（検体採取用シミュレーター）の貸出について必要な時は事務局が手続きの窓口になると報告した。
第38回和歌山県医学検査学会にて使用する目的で貸出申請したと報告した。
- ③ 9月1日：日臨技より日臨技管理機器（物忘れ相談プログラム）の貸出について、必要な時は事務局が手続きの窓口になると報告した。
- ④ 10月16日：平成29年度医療従事者功労者賞候補者について、日赤和歌山病院の勝山技師を推薦したと報告した。
- ⑤ 10月16日：リレーフォーライフジャパン2018わかやまからの後援依頼・顧問就任について竹中会長を推薦したと報告した。
- ⑥ 10月16日：平成29年度院内感染対策講習会推薦者について回答期限の関係にてメール会議を行い、紀南病院の杉野技師を推薦したと報告した。
- ⑦ 11月1日：日本医療マネジメント学会後援依頼回答書を送付したと報告した。
- ⑧ 11月2日：医療安全推進週間について11月19日から1週間は医療安全推進週間であり、厚生労働省などのHPを見てほしいと依頼した。
- ⑨ 日臨技による、会員意識調査並びに会員施設実態調査が行われているので、各施設で対応するよう依頼した。
- ⑩ 日臨技より、『臨床検査における品質・精度管理の確保に関する研究』に対して各都道府県の精度管理要領及び精度管理報告書の資料提供依頼があったと報告した。

久保理事より、日臨技から地臨技が行っている「臨床検査における品質・精度管理の確保に関する研究について」（コントロールサーベイの内容や方法について）の情報提供の要請があったと思うが、和臨技としてどう対応していくのかと質問があった。それに対し事務局から、現在日臨技より当会で行っている精度管理の要領と報告に関して情報提供をしてほしい旨の依頼があり、平成28年度の精度管理の申し込み要領と報告書を送付したと報告した。

学術部報告

- ① 2018年1月13日に学術部班長班員会議を開催する予定で、同時に精度管理委員会とコミュニケーション委員会会議も開催予定であると報告があった。
- ② 第67回日本医学検査学会より、生理、微生物、臨床化学分野での一般演題座長推薦依頼があり、各分野班長に依頼したと報告があった。
- ③ 日臨技各賞の推薦について、今回は該当なしと報告があった。

経理部報告

特になし

各種委員会報告

公益事業活動

- ① ピンクリボン紀南 2017 が平成 29 年 10 月 8 日に熊野本宮大社で開催され、ライトアップや乳がん講演会では 150 名の参加者があり、その他、熊野リ・ボーンウォーク、松田陽子様によるミニコンサートが行われたと報告があった。
- ② 医療セミナー in 和歌山について、平成 29 年 11 月 11 日に和歌山労災病院でがん検診を受けよう！というテーマで、講演が開催され、参加人数 32 名、アンケート調査の回収数は 11 名であったと報告があった。
- ③ HIV/AIDS 啓発活動及び HIV 即日検査が、平成 29 年 11 月 18 日に和歌山大学で開催され、HIV 即日検査では 30 名、梅毒検査は 29 名、啓発活動には 158 名の方が参加されたと報告があった。

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

- ① 病院協会学術大会で、ポスターセッションで 1 題発表を行うとの報告があった。
- ② 12月9日に済生会和歌山で和臨技災害フォーラム2017が開催予定で、「南海トラフ大地震を踏まえた和臨技災害対策への取り組み」、「災害被災地域におけるPOCT 機器の必要性」、「災害時の医療について」の3講演で開催されるとの報告であった。

精度管理

- ① 精度管理調査願いを該当施設に提出依頼をしていると報告があった。
- ② 今年度の精度管理事業において、下記の問題点があり今後の検討課題にすると報告があった。
 1. 血液部門のサーベイ試料を作製するために、ボランティア採血をしていることについて、責任の所在が明確でないため、メーカー試料等も検討する。
 2. 微生物部門のサーベイ試料を送付する際、容器の破損等を考慮するために発送方法を検討する。

データ標準化

特になし

会誌編集

- ① 会誌和臨技への投稿論文の締切りが 12 月 1 日であると報告があった。また投稿の依頼があった。

ホームページ

特になし

会報

- ① 和臨技会報 69 号（平成 29 年度前期）が完成し、ホームページにもアップしていると報告があった。

月例行事予定表

特になし

連盟

活動報告があった。

第 38 回和歌山県医学検査学会

- ① 一般演題、意見交換会、宿泊の締め切りは 11 月 30 日と報告があった。
- ② 広告、機器展示、会場レイアウトの状況報告があった。

その他

事務局より次年度予算書の提出期限が 12 月 4 日と報告した。

審議事項

① 結核研究奨励賞候補者推薦について

結核関連の発表を行った国立和歌山病院の小林技師を、推薦していきたいと提案があり、裁決を行った結果承認された。

② 災害対策委員会の中に DVT 検診チームを新設することについて

会長より、日臨技より DVT 検診マニュアルが整備されたことより、和歌山県下でも災害発生時 DVT 検査が多く、多くの会員が正しく検査できるように、教育機関的な要素で DVT チームを整備したいと提案があり、災害対策委員会に設置するという事で承認された。

③ 精度管理事業におけるボランティア採血について

a. ボランティア採血のままでいいのか

b. ボランティア採血をなくした時に団体としてどうするのか

日臨技サーベイでの試料調達方法や、血液センターの血液を使用する方法、また他府県の状況を確認するなどして情報収集をすることで継続審議となった。

④ 和臨技メール配信について

和臨技公認メーリングリストとして無料の Free mail GMO を使用しており会員より、「広告メールが頻繁に送られてくる」「いつの間にかメールが来なくなった」といったクレームが寄せられたことより、問題解決のために有料メーリングリストに移行したいと提案があり、一度他のサービスを試してみるということで継続審議となった。

記録作成	平成 29 年 12 月 6 日	氏名	神藤 洋次	提出	平成 29 年 12 月 14 日
------	------------------	----	-------	----	-------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可